

オリジナルグッズ

# プリント方式別データ作成の方法とテンプレートについて

## 目次

- 1.テンプレートの見方とご注意点
- 2.淡色用ダイレクトインクジェット方式について
- 3.濃色用ダイレクトインクジェット方式について
- 4.カッティング&転写方式について
- 5.透明転写方式について
- 6.パスの作成方法について

# 1.テンプレートの見方とご注意点

## ■レイアウト方法について

- ・ご注文の**プリント面積内(赤い文字で記載しております)**でデータを作成し、テンプレートの**青い枠内**に自由に配置してください。  
**青い枠**の外側または**青い斜線部分**への印字は不可です。

## ■ご注意点

- ・お客様のデザインは「デザイン」レイヤーに作成してください。
- ・「案内」や「ボディ（色変え）」等その他のレイヤーは削除・統合せずにそのまま保存してください。

# 2. 淡色用ダイレクトインクジェット方式

・白インクを搭載しておりません。データ上の白はプリントされませんのでご注意ください。

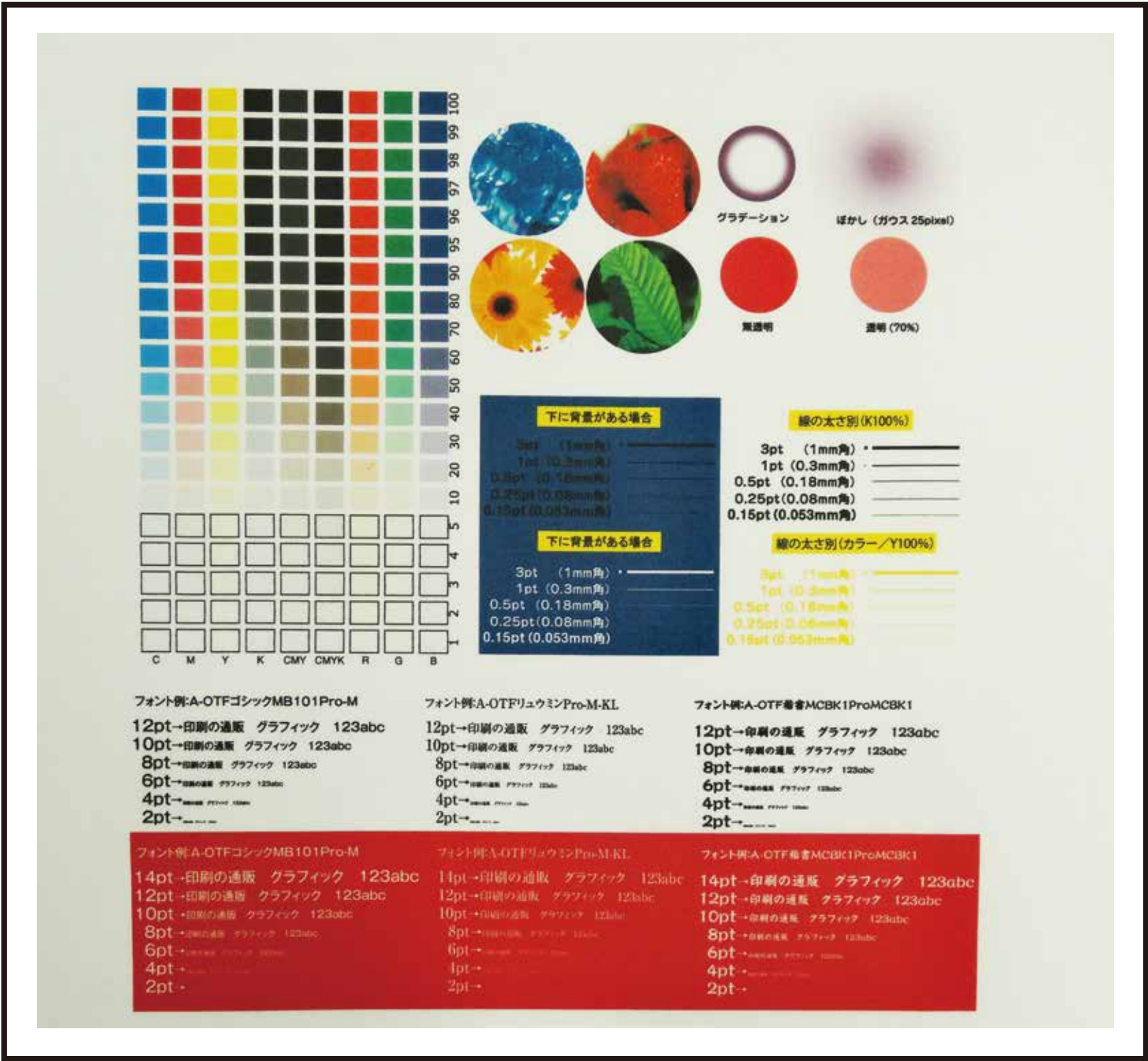


- ・細かい文字や線、白抜き文字はデータに忠実に再現できない可能性があります。(見本参照)
- ・濃度が低い場合、デザインを忠実に表現出来ない可能性があります。(見本参照)

※見本のウェアカラーは『ホワイト』です。

ウェアカラーとデザインの組み合わせによっては結果が異なります。参考までにご利用下さい。

※実際とは多少異なることがありますので予めご了承下さいませ。



見本



# 3. 濃色用ダイレクトインクジェット方式

・データ上の白は、そのまま白くプリントされます。印刷したい部分以外は透明化してください。  
不要な白デザインの有無については、テンプレート記載の「ボディ色変え方法」を行い、必ずご確認下さい。  
Adobe Illustratorの表示メニュー→「透明グリッドを表示」でも確認していただけます。



- ・背景(ウェア生地)に対しての「ぼかし」や「ドロップシャドウ」等の透明効果は忠実に再現できない可能性があります。
  - ・色掛け合わせ等、色によってはムラが目立つ場合がございます。予めご了承下さい。
  - ・細かい文字や線、白抜き文字はデータに忠実に再現できない可能性があります。(見本参照)
  - ・デザイン部分には白インクを敷きますので、濃度が低い場合はデザインを忠実に再現出来ない可能性があります。(見本参照)
- ※見本のウェアカラーは『ジャパンプルー』です。
- ウェアカラーとデザインの組み合わせによっては結果が異なります。参考までにご利用下さい。
- ※実際とは多少異なることがありますので予めご了承下さいませ。



見本



## 4. カッティング&転写方式

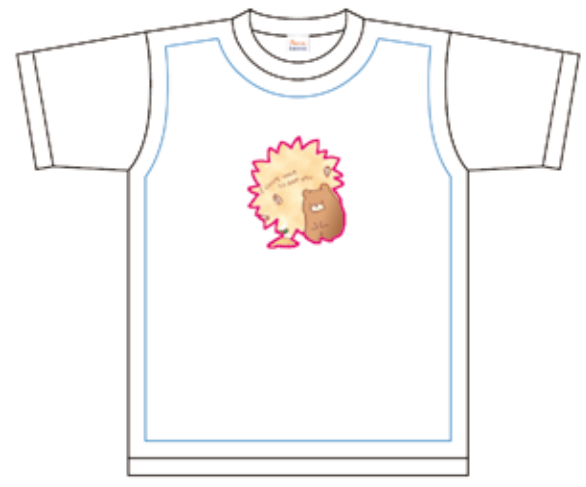
- ・必ずデザインに沿ったパスを作成してください。パスの作成方法は7ページ目をご覧ください。

パスが取れていないデータ



→デザインに沿ったパスが作成されていないため四角いフチがついてしまう。

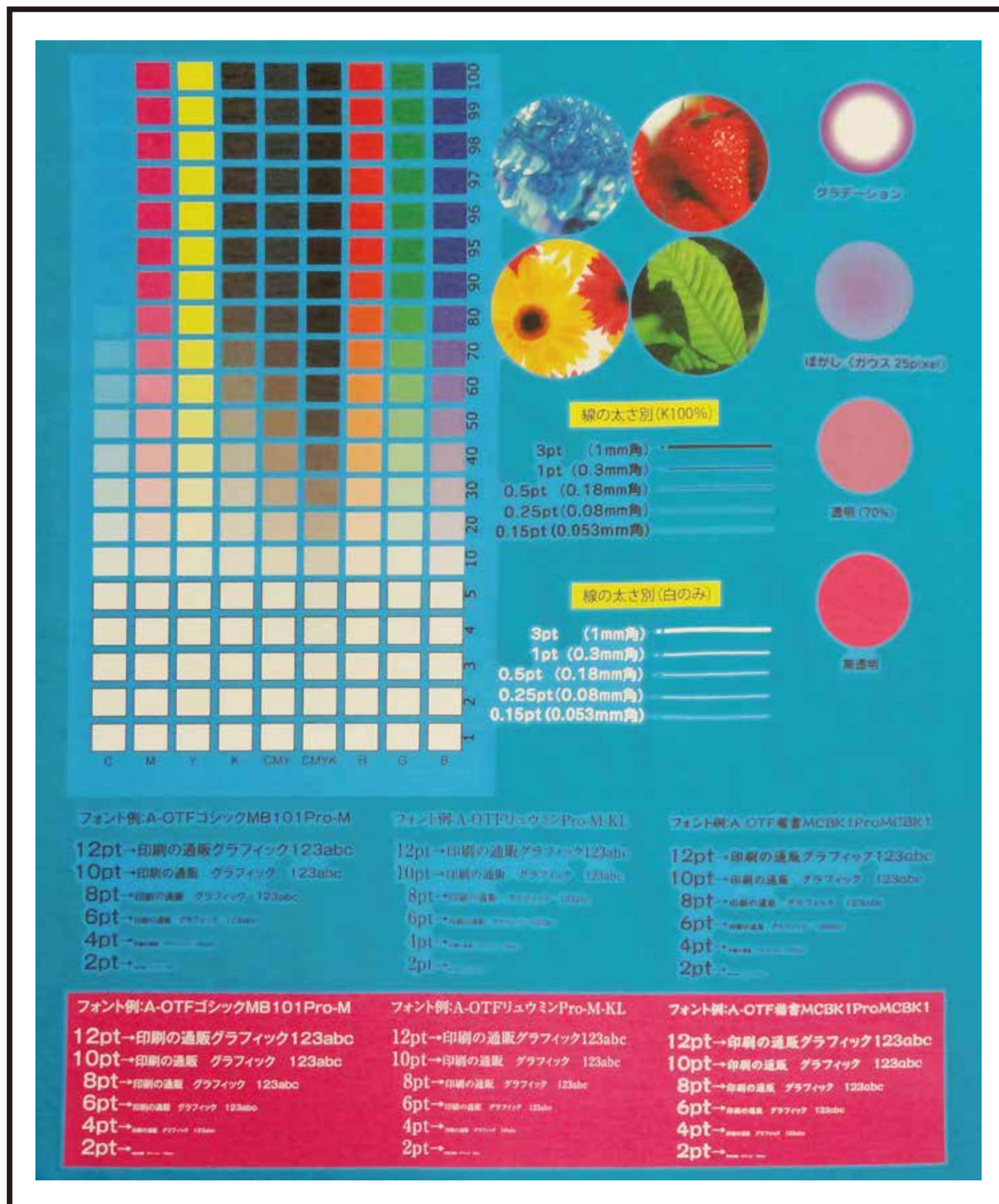
パスが取れているデータ



→デザインの形状に沿ったフチがつく。(推奨)

※見本のウェアカラーは『ターコイズ』です。

※実際とは多少異なることがありますので予めご了承下さいませ。



見本

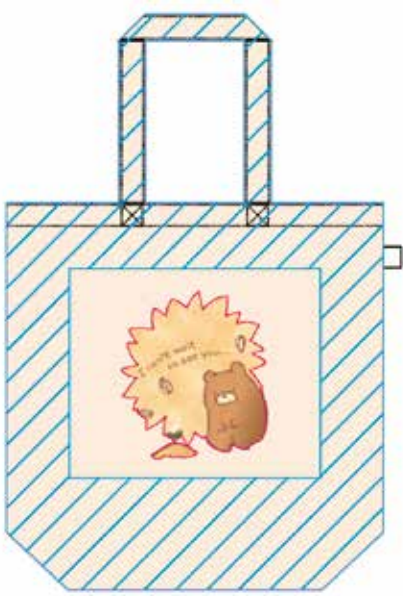
# 5. 透明転写方式

・必ずデザインに沿ったパスを作成してください。パスの作成方法は7ページ目をご覧ください。

パスが取れていないデータ



パスが取れているデータ



→デザインに沿ったパスが作成されていないため四角いフチがついてしまう。

→デザインの形状に沿ったフチがつく。(推奨)

・白インクを搭載しておりません。データ上の白はプリントされませんのでご注意ください。



ご入稿データ



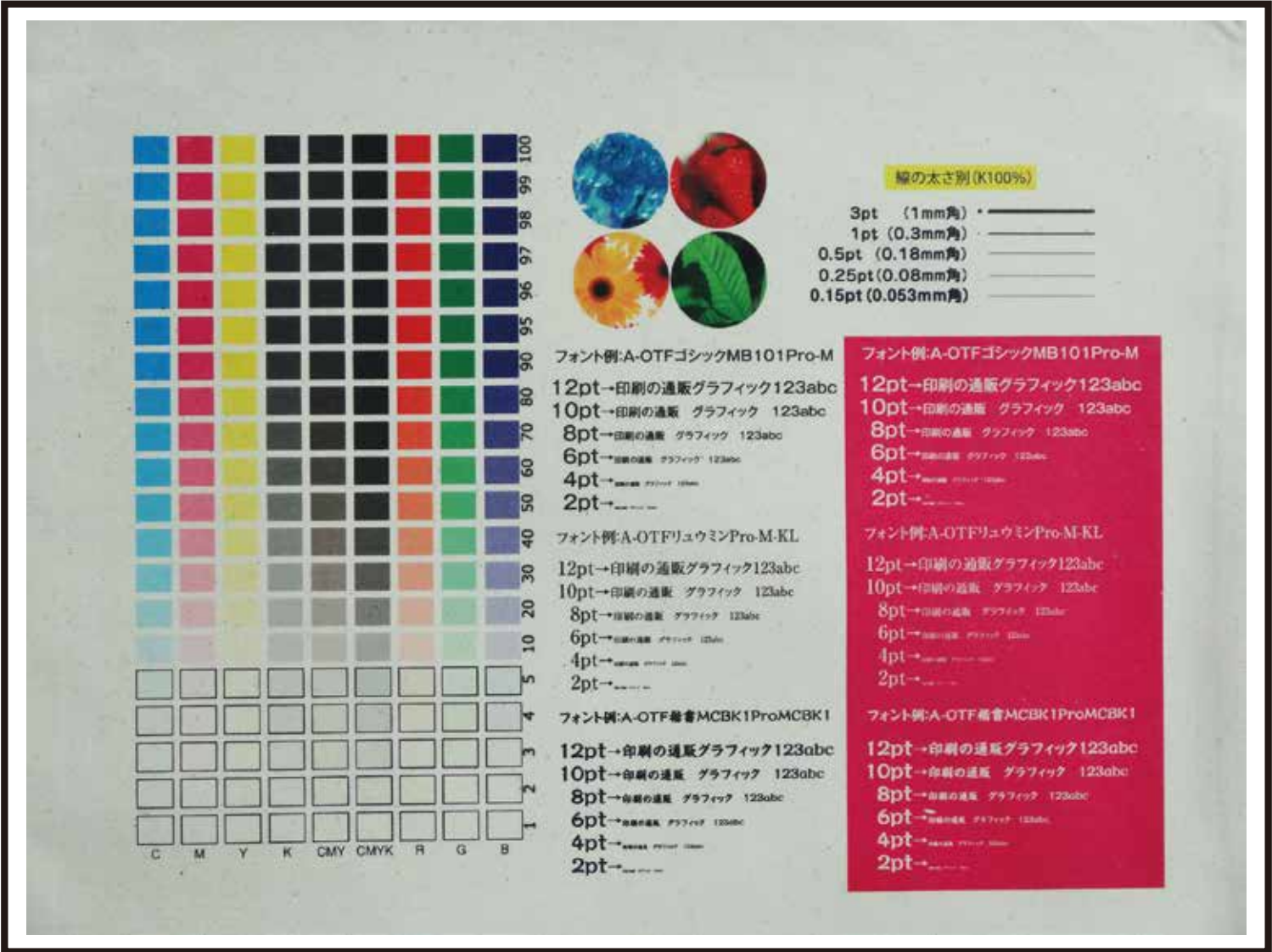
仕上がりイメージ

・濃度が低い場合、デザインを忠実に表現出来ない可能性があります。(見本参照)

※見本の生地色は『ナチュラル』です。

生地色とデザインの組み合わせによっては結果が異なります。参考までにご利用下さい。

※実際とは多少異なることがありますので予めご了承下さいませ。



見本



# 6. パスの作成方法

1. Adobe Photoshop で画像ファイルを開き、レイヤーパレットでレイヤーが1つだけになっている事を確認します。  
レイヤーが複数存在している場合、必要なものだけを残し全てを統合します。（背景は透明のままでも可。）

2. 自動選択ツールなどを使い必要な絵柄のみをできるだけ絵柄に沿って選択します。（図 1）

3. 必要な絵柄のみを選択している状態でパスパレット内の下部にある「選択範囲から作業用パスを作成」ボタンを押します。またはパスパレットオプションから「作業用パスを作成」を選択してください。  
（この時許容値を選択するダイアログが出てくる場合は小さい数値にするほど細かいパスが作成されます。）  
するとパスパレット内に「作業用パス」という名前の新しいパスが出来上がります。



（図 1）

4. そのままパスパレット右上のオプションボタンを押し「パスを保存」を選択します。  
デフォルトでは「パス 1」が出来上がります。（名前は何でも可。）

5. 続いてそのまま再度パスパレットの右上のオプションボタンを押  
「クリッピングパス」を選択します。表示されるダイアログで先程保存したパス名を  
指定します。「平滑度」は通常設定の必要はありません。  
「パス 1」の文字が白抜き文字に変わります。（図 2）



（図 2）

6. データを別名保存します。必要レイヤーのみを残し、psd 形式で保存します。

ここまでで Photoshop でのデータ処理は終了です。

7. 先程保存した psd データを Adobe Illustrator ドキュメントに配置します。

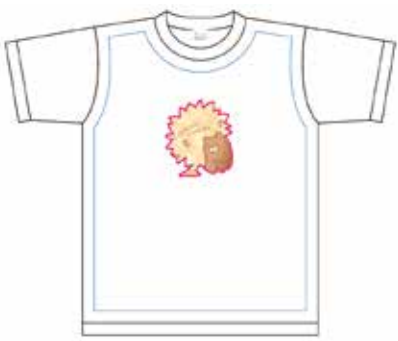
8. Illustrator のリンクパレットで該当画像データを埋め込むと画像の周りのパスが取れるようになります。

※上部メニューバー〈表示〉の〈アウトライン〉を選択し、アウトライン表示をすると、パスを確認して頂けます。

パスが取れていないデータ



パスが取れているデータ

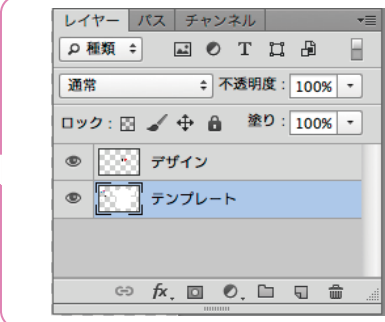


## 【Adobe Illustrator をお持ちでない場合】

1、不要なレイヤーを削除して下さい。

2、上記方法でパスを作成したデザインレイヤーとテンプレートのレイヤーを統合せず保存して下さい。

その際は、psd 形式で保存してください。※psd 形式以外は意図せずレイヤーが統合されることがあります。

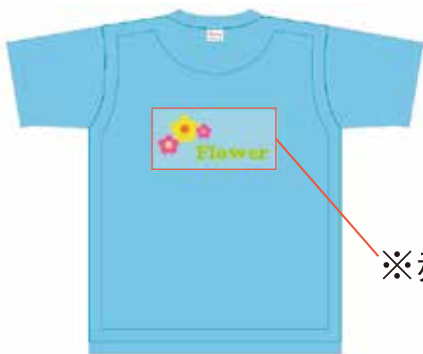


## 【パスの作成が困難な場合】

上記方法でパスの作成が出来ない場合、デザインが収まるサイズの四角いパスを  
作成させて頂き仕上げる事も可能です。

「四角いパスで進行」の旨を別途ご指示ください。

仕上がりは右の画像のようになります。



※赤枠がシート部分です。